



## 蕪栗沼と渡り鳥（大崎市田尻）

蕪栗沼は、面積約 150ha の湿地で沼地の大部分はヨシやマコモに覆われています。遊水地として整備されており、増水時には一時的に水を貯めることで周囲の家屋や水田を洪水から守っています。日本国内で有数のマガン（国天然記念物指定）飛来地の一つで、オオヒシクイやオオハクチョウ、コハクチョウの越冬地となっており、国際的に重要な湿地を保護するラムサール条約に指定されており、大崎市田尻地域では、平成 15 年から蕪栗沼周辺の水田において冬期湛水水田農法「ふゆみずたんぼ」による米作りが行われています。これは鳥たちの糞を肥料として活用し、渡り鳥と農業の共生を目指す取り組みでもあります。（写真：宮城県観光課提供）